

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	九州三菱自動車	A	○5-1	<p>試合内容としては、緊張もある前半で4点をとれたことが良かった一方で、自分たちがやろうとしたサッカーはプレーで出せなかったことは悔やまれます。後半10分ぐらいからイメージしていたプレーが出来始めたと思っています。選手交代の直後に少しもたついたところがありましたが、そこは修正していかねばと思います。相手が昨季3位のチームということでどうなるか見えない初戦でしたが、この初戦でここまでできたのは良かったと思います。</p> <p>あす(第2週)は昨季2位で、上位チームと連戦になりますが、逆に自分たちが九州リーグという舞台でどこまでプレーできるのかを判断できる大事な試合だと考えています。沿う意味で昨季上位2チームとぶつかる開幕2連戦は非常に重要な意味があり、大切に試合を乗り切りたいです。</p> <p>当たり前のことですが、日頃の練習の中でどう攻撃を仕掛けていくのか、どういう守り方があるのかを常に考えるようにしているし全員にそのことを意識してほしいと伝えている。日ごろ意識しているこのようなことをリーグ戦のプレーの中で出していきたいと思っています。</p>
2	J.FC MIYAZAKI	H	○5-0	<p>昨季2位、3位のチームとの2連戦をこの結果で終わることができ、「とにかく勝つ」という結果を出せたことは良かったと思っています。</p> <p>ただし、我々が目指していることから言えば、これはまだ通過点に過ぎない。5-1、5-0のスコアに選手たちには満足せず、さらに気を引き締めてもらいたいです。上には上がいる訳で、もっともっと上をめざしていかねばならないと思っています。その点でいえば、勝ったとはいえ、ゲームを支配できたかというとまだまだの部分があった。一つの判断がゲーム展開に大きな影響を与えることも今日の試合で分かったと思いますので、さらに注意していきたいです。</p> <p>今季から加入の10人もまだまだなので早く成長してチームの中心になってほしい。そんな中で途中出場の選手たちがアシストもゴールも決めてそれぞれの役割をこなしていたので、18人全員で勝ち取った勝利だと思っています。</p>
3	川副クラブ	H	○4-1	<p>全体を通してよくなかったという印象です。単純ミスが多く、自分たちのリズムを自分たちで崩してしまった部分があり、こういう結果になったと思っています。</p> <p>得点チャンスが多くあったにもかかわらず、決めるべきところで決めることができなかった。そのうえで失点もあったので、、、</p> <p>相手チームがどうこうというより、やはり決めるべきところで決めきれなかったことなど自分たちで招いた結果だと思う。ここを改善していかないとチームの目標はおぼつかない。選手個人としてもチームとしても成長していかなければならないなかで、今日のプレーには、その成長を自分たちで阻害している場面がみられた。</p> <p>一方で、ゴールについては自分たちの狙った形でできたとも思っていますので、反省点を踏まえて、いそいで改善していきたいです。</p>
4	佐賀LIXIL	H	○3-1	<p>なかなかコメントのしづらい試合内容でしたが、はっきり言えるのは、押し込んでいるときにどう攻めていくかというアイデアが試合を通して不足していました。</p> <p>2得点を得た後に決定機がさらに何度かあったのに、そこを決めることができないうまま試合を終わらせてしまったのは大きな反省点です。</p> <p>もうすこし丁寧さと同時に、頭を使いながらもシンプルな攻め方、スマートな攻め方を求めています。</p>
5	熊本県教員蹴友団	A	○5-0	<p>前半は自分たちが新たにチャレンジしようとしている内容が試合に表れていたかなと思っています。</p> <p>1点目をとるところまでやや時間がかかりましたが、よく我慢して、自分たちが目指すプレーを続けて得られた点だったので、ほぼ納得のいく得点の仕方でした。</p> <p>ただし、ゴール前において、得点までの質、例えばポジショニングなどはもっともっと改善していかなければならないと思いました。</p> <p>後半ではメンバーを少し入れ替えた中で、前半では意識していた自分たちのめざすスタイルや意識が少し薄れてしまいました。</p> <p>どのメンバーが出て全員が自分たちのサッカーというものを共有し、理解して、やり切ることが大切だと思っています。</p> <p>そのような中で5-0の無失点で勝った結果には、素直に良かったと感じています。</p> <p>初めてのアウェイゲームでしたが、準備していただいた熊本県教員蹴友団の皆様、熊本県協会の皆様、そしてボールパーソンの高校生の皆さん、有難うございました。</p>
6	FC中津	H	○2-0	<p>引いて守ってくる相手をどう崩していくかというアイデアが出せなかったこと、そこにつけるとしています。</p> <p>相手が引いて守ってくるというのは予想していたわけで、そういうパターンの相手にどう立ち向かうかは日ごろの練習の中でも準備してきたつもりです。</p> <p>ただ、今日のFC中津さんの試合運びがそうであったように、実際に目の前の相手にそういう風にこられた時には、いかに崩していくかをチームとしては当然ですが、選手個々人がもっともっと考えて、いかに楽に状況を打開できるかを考えなければなりません。そこが今日の試合では全く見えてこなかった。実際に試合の中でどう崩すかのアイデアが出てこず、分からないまま焦ってミスを繰り返すことが多かったと思います。</p> <p>その意味で、改めて勉強になった試合で、成長するために必要な課題なんだと改めて認識しました。選手各自が戦術理解をもっと深めないといけないと感じた試合でした。</p>

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
7	海邦銀行SC	A	○7-0	<p>決定機にしっかりと決めきることができるかどうか、いかにゴールまで持って行けるか。これが私たちのチームの課題なので、チームとしてやり方を少し変えつつあります。選手各々がポジショニングのとり方などを理解し始めていると感じていますが、きょうは、例えば崩し方とか「形」とか、そういったものが出来たのは良かったと思います。ただ、守備面について言えば、きょうの試合は偶然、失点が無かっただけと感じます。特に前半は失点していてもおかしくない。自分たちのミスから相手にチャンスを与えている。崩されているわけではありませんが、やはりミスが致命傷になる。そのためにも、ポジショニングや距離感などは非常に重要なんだということを理解し始めている分、さらに各自が理解度を深めて試合にいかしたいと思います。</p> <p>沖縄のチーム同士の対戦で注目もあったと思いますが、無事に終わることができました。運営の海邦銀行サッカークラブの皆さん、ボールパーソン、県協会社会人委員会の皆様、ありがとうございました。</p>
8	NIFS KANOYA FC	H	●1-5	<p>決定機を多く作りながらも、自分も含めて決めきれなかったことが大きい。</p> <p>逆にNIFSさんは、我々と同じように決定機をつくって、そこをしっかりと決めきっていたのが結果に表れたと思います。</p> <p>2日間の集中開催なので気持ちを切り替えて、明日の試合はしっかりと結果を出したいと思います。</p>
9	新日鐵住金大分	A	○5-0	<p>今日の試合は1-5という結果に終わってしまいましたが、今日は反省点をしっかりと軌道修正できたと思います。</p> <p>シーズン前半を1位で終わることが出来ましたが、2位との勝ち点差は小さいので、しっかりとシーズン後半にむけて気を引き締めていきたいと思います。</p> <p>今日の新日鐵さんとの試合について言えば、勝ったとはいえやはりボールの失い方、失った後の切り替えが良くない。そこをカウンターでやられそうになるという場面が多かった。球際の弱さなどは、甘さが出ている証拠。1試合1試合の重みをもっと全員で意識していきたいと思います。</p> <p>2日間にわたって集中開催の準備や運営をしていただいた佐賀LIXILFCやボールパーソンの皆様、リーグ事務局の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。</p>
10	九州三菱自動車	H	○4-0	<p>チームとして『無失点で勝つ』ことが目標なので、シーズン後期の1試合目を無失点で勝てたことは素直に良かったと思います。</p> <p>ただし、前半には不用意な単純ミスが多かったことは、やはり、いつも通りながら反省しなければならない。</p> <p>ハーフタイムでしっかり修正していこうと指示し、後半はそのようなミスもなく、攻撃面でも狙いに近い形になりはしたが、やはりまだまだ。</p> <p>選手各自が、チームの意図をどれだけ理解し、それを実行しきれるかにかかっていると思います。</p>
11	J.FC MIYAZAKI	A	●0-1	<p>相手に1回のチャンスを決められてしまった感じです。大事な試合を落としてしまい残念です。</p> <p>もう一度、チームの意識を高めて、しっかりと毎試合に挑み、向かっていきたいと思います。</p> <p>2日にわたって運営していただきました大分県サッカー協会の皆様、新日鐵住金大分、FC中津の皆様、ボールパーソンの九州スポーツカレッジの皆様、ありがとうございました。</p>
12	川副クラブ	A	○4-1	<p>まずは、とにかく暑い中で選手たちがよく頑張ってくれたと思います。いつも通りのことではありますが、やはり決定機を得点につなげることができない課題が、この試合でもありました。</p> <p>得点することが、よいディフェンスにもつながってくるわけで、逆に言えば、決定機を外すことでメンタルのコントロールも難しくなってしまう。より競った試合になるほどメンタルの重要度は増していく。自分たちでゲームをコントロールするためにも、一つ一つの決定機の重要性をしっかりと認識して形にしていきたいです。</p> <p>ホームの運営にあたっていただいた川副クラブの皆様、ボールパーソンの川副少年サッカークラブの皆さん、佐賀県協会、審判の皆様、暑い中有難うございました。</p>
13	佐賀LIXIL	A	○4-0	<p>それなりに手ごたえのある試合内容だったと思います。人工芝ということでちょっとうまく行かなかった部分はありましたが、それでもチーム全体としてゲームに対する理解が深まっていい感触を得ることができた試合内容でした。</p> <p>これまでの試合でももちろん自分たちの狙いを出していく努力をしてきましたが、偶然というか結果的にたまたま良かったというような部分が無きにしもあらずでした。しかし、ここ最近の試合では、以前から目指してきたチームとしての狙い、動き、意図、そのうえで結果について個々の選手が理解を深めてきていると感じます。今日の試合も含めてそういう狙いを形にするシチュエーションが増えてきた、追い求めてきたものが形になってきたと思います。</p> <p>あと2試合ですが、選手たちの理解が深まってゲームの中で自分たちの狙うところを表現できるようになってきているので、これをさらに進化させていきたいと考えています。</p> <p>今節は台風で延期になったものでしたが、ホームの佐賀LIXILFCさんや、ボールパーソンでお世話になった鹿島実業高校サッカー部の皆さん、佐賀県協会の皆様、運営有難うございました。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
14	熊本県教員蹴友団	H	○9 - 1	<p>久しぶりのリーグ戦となりましたが、全体としてはチームとして追い求めている姿を出せるようになってきたと感じました。</p> <p>その中で、一つ一つのプレーにおいて細かい部分にもっとこだわってほしいと思いましたし、その必要性をいま一度確認しました。</p> <p>例えばセンタリング一つとっても、今日の試合はなかなか良かったのですが、もう少し突っ込んで、どういう球をあげるのか、どう入ってきて欲しいのかが分かるようなこだわりを持ってほしい。それによってチームの意識もおのずから変わってくるし、それがチーム全体にも影響、波及してくると思っています。</p> <p>失点については、全体として良かった分、大きなマイナス。自分たちのミスでしかなく、集中力の欠如が出ている。相手に崩されてというなら仕方ない部分もあるかもしれないが、今日の失点は単なる凡ミス。失点ゼロで試合を終えることの意味をもっと真剣に考え、大切にしないといけない。スコアという結果以上に、試合そのものに、その時々プレーにももっともっと厳しさを追求しないといけないと思います。いままで以上に細かい点に気を配って精度の高いプレーを全員でめざしていきたいと思います。</p> <p>久々のホームでの試合でしたので、熊本県教員蹴友団の皆さんには沖縄まで遠征していただくことになりましたが、有難うございました。</p> <p>審判団や県協会社会人員会の皆様にも御礼もうしあげます。</p>
15	F C 中津	A	○6 - 0	<p>F C 中津さんとの試合でしたが、我々の方は前半の立ち上がりが悪くなく、単純なミスもあり、球際の競り合いで負けるところもあったのは、チームとして気になる場所でした。</p> <p>より積極的にプレーするんだというメッセージを選手全員で今一度確認するため、早めの選手交代に踏み切りました。カツを入れるという意味でした。交代出場した選手が前半で先制点を奪い結果を出してくれたのは大きかったです。それにより後半はだいぶ楽になり、落ち着いて普段通りのプレーができたと思います。</p> <p>一方で中津さんに決定機を与えてしまった。ここ数試合、相手に決定機を与えてしまうシーンが続いていて、ここはいつものことながら反省して素早く修正したいと思います。</p> <p>中津さんに与えてしまったあの決定機を決められていたら、試合の流れが変わっていたかもしれない。つまり、安易に相手に決定機を与えることの怖さを、選手全員が感じて、技術だけではなく緊張感や集中力を持続させるメンタルの強さも再度、全員で共有したいと思います。</p> <p>運営の中津の皆さん、ボールパーソンの中津のジュニアユースの皆さんありがとうございました。</p> <p>また、審判団のほか、施設管理者の方々にも大変お世話になりました。有難うございました。</p>
16	海邦銀行 S C	H	○3 - 0	<p>全体的には悪くない試合運びだったと感じていますが、ただ、やっぱり今年ずっとやってきた課題である「決定機に決める」という部分は課題のままの状態です。</p> <p>例えば5回の決定機でいまの自分たちが得点できるものに、正直、あと2点は欲しいところです。自分たちでチャンスをいかさず逃してしまうと、当然ながら試合の流れは変わってゲームコントロールは難しくなる。繰り返し同じ話をしていますが、やはりここが課題だと、今日の試合でも感じました。</p> <p>とはいえ、実際にはこういう展開が多いわけで、そこは我慢強く戦っていくしかありません。今シーズンの落とした2試合は、隙をつくったことが大きな要因だったと思っています。</p> <p>その意味で、今日の試合はときかか我慢強く戦って、ゼロ（失点）で封じることができたことが良かったです。シーズンも残り数試合になりましたが、我慢強く戦っていけるように意識していきたいと思います。</p> <p>今節は海邦銀行 S C さんとの沖縄ダービーで、互いに沖縄での最後の試合でした。我々のホームゲームでしたが試合告知などいろいろ協力して頂きました。有難うございました。</p> <p>審判や県協会の皆様にも御礼申し上げます。</p>
17	NIFS KANOYA FC	A	○6 - 1	<p>優勝を狙っていたので残念です。シーズンを通してですが、決定力、決定機に点を取ることにこだわりの迫力が欠けていたのかなと思います。</p> <p>そこが最大の要因で、チームが困った時に自分たちの弱さにつながってしまったと思います。</p> <p>試合を重ねるごとに課題も見えて来たものもありました。そこを改善しながら一年を戦ってきて、終盤はまとまりが出てきたし、最終の2戦も含めて実際の試合でも反映できてきたと思います。できたばかりのチームでいろんな選手が集まる中、チームをつくりながら結果ももちろん追い求めるわけで、選手がついてこられない部分もあったらうし、大変だったと思います。ただ、九州リーグを一年戦って、ベースはできたと思います。このベースに上積みしていく考えです。来季はさらに面白いチームになっていると思います。</p>
18	新日鐵住金大分	H	○1 - 0	<p>今季から参入しているいろんな方々にお世話になりました。</p> <p>宮崎集中開催で対戦した N I F S K A N O Y A F C、新日鐵住金大分サッカー部の皆様、運営の J . F C M I Y A Z A K I や宮崎県サッカー協会、九州サッカーリーグ事務局の皆様、各チームや関係者の方々にお世話になりました。あらためて御礼申し上げます。</p>